



にほんふうけいかいどう なにわのみや おおさか くまのかいどう
日本風景街道～難波宮と大阪・熊野街道

古代からの息吹が都会の真ん中に

大阪の黎明期より今日まで、その歴史を担ってきた上町台地を対象としたコースです。見どころは、上町台地の南北を挟む淀川大川と大和川の間約14キロメートルに点在する、史跡・寺社・観光スポット。都会の真ん中で大阪独自の深い歴史と驚きに出会えます。

マップ番号 1



遊ぶ

難波宮史跡公園

飛鳥、奈良時代の都・難波宮の遺跡が残る史跡公園。

マップ番号 2



観る

八軒家浜（はちけんやはま）

江戸時代に京と大坂を結ぶ三十石舟の発着場として栄えた船着場。

マップ番号 3



観る

四天王寺

推古元年(593)に聖徳太子が創建した日本仏法最初の大寺。

マップ番号 4



観る

熊野権現礼拝石（くまのごんげんらいはいせき）

彼方に鎮まる熊野権現に向かって手を合わせ、道中の安全を祈願したといわれます。（四天王寺内）

マップ番号 5



観る

阿倍王子神社（第二王子社）

祭祀始めは平安時代で、大阪市内唯一の、旧地に現存する王子社。

マップ番号 6



観る

八咫鳥（やたがらす）

八咫鳥は、日本神話において、神武天皇を大和の橿原まで案内したとされており、導きの神として信仰されている。

マップ番号 7



観る

新宮社（しんぐうしゃ）

12世紀から13世紀に熊野詣でが日本で流行った時に、熊野新宮への道の途中に「熊野王子」という熊野新宮の支社ができた。（住吉大社内）

マップ番号 8



観る

住吉大社

日本書紀や古事記にも祀の伝承説話が述べられている古社。

活動・取り組みの紹介

なにわの宮リレーウォークに参画しているほか、歴史を学ぶ講演会や輪読会を開催しています。また上町台地の地形や歴史・史跡等の検証、大阪市内・大阪府下中世の熊野街道の探索など、まち歩き企画・実施もしています。

● お問い合わせ先

難波宮と大阪・熊野街道連絡協議会
大阪市住吉区長居西2-10-41 TEL：06-6694-5320
メールアドレス：aqifico14@live.jp

